

平成 27 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
 (コード番号: 4570)
 本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
 代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
 問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
 電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
 U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

- (1) 平成 28 年 3 月期連結業績予想数値の修正
 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	900	△35	△50	20	3 円 5 銭
今回修正予想 (B)	730	△115	△120	△55	△8 円 40 銭
増減額 (B - A)	△170	△80	△70	△75	
増減率 (%)	△18.9	-	-	-	
前期実績 (C) (平成 27 年 3 月期)	729	△181	△139	△158	△24 円 20 銭
増減額 (B - C)	+0	+66	+19	+103	

(2) 修正理由

① 診断・試薬事業

当社の自社製品である E I A 測定キット並びに抗体の製品販売は、国内外ともに順調に販売が増加しておりますが、受託サービスにおいて、受注が振るわず、計画を大きく下回る見込みとなりました。また、当第 1 四半期におけるタカラバイオ株式会社からの在庫買戻しによる返品処理の影響もあり、売上高は、560百万円を予想しておりましたが、30百万円減少し、530百万円(前年比5%増)となる見込みです。

なお、上記在庫買戻しによる売上総利益額の影響額につきましては、前期において、返品調整引当金を繰入計上し、当期において戻入計上しておりますので、影響は軽微となっております。

②遺伝子組換えカイコ事業

体外診断用医薬品の原料供給の受託生産において、製品の引き渡しに時間を要し、上期に売上を計上することが出来なかったことや大手体外診断用医薬品企業の予算縮小などにより、売上高は、110百万円を予想しておりましたが、42百万円減少し、68百万円となる見込みです。また、前年度は、アステラス製薬株式会社からの一時金計上などがあり110百万円の売上を計上しており、前年度と比べ24%減となる見込みです。

なお、アステラス製薬株式会社と共同研究を進めているフィブリノゲンの共同研究は、継続して進行しており、医薬品原料を生産するためのGMP対応を踏まえたパイロットプラントの建設を開始しております。

③検査事業

同事業は、主に株式会社スカイライト・バイオテック（以下、「SLB」という）によりセグメントが構成されております。SLBでは、ゲルろ過HPLC法を応用したシステムにより、血中リポタンパク質分画の詳細プロファイリングデータを解析する受託サービス（Lipo SEARCH）において、売上増加を見込んでおりましたが、国内・海外から引き合い増加の兆しが見え始めているものの、今期の販売増加までには至っておりません。また、動物病院におけるコンパニオン・アニマルの診断支援サービス（Lipo TEST）は、同市場におけるサービスの競争等で、受注が伸び悩んでおります。その結果、売上高は、150百万円を予想しておりましたが、30百万円減少し、120百万円（前年比9%増）となる見込みです。

④化粧品関連事業

同事業は、主に株式会社ネオシルク化粧品（以下、「NSC」という）によりセグメントが構成されております。NSCは、ネオシルク[®]-ヒトコラーゲンIを含有する化粧品「フレヴァン」シリーズを雑誌や新聞等へ広告を掲載し、新規顧客の獲得を積極的に推進し会員数を増やしてまいりました。しかしながら、新規顧客からリピート顧客への転換施策が遅れ、リピート購入率を向上させることが出来ず、獲得した新規顧客のリピート購入率が予想を大幅に下回る見込みとなりました。その結果、売上高は、80百万円を予想しておりましたが、68百万円減少し、12百万円（前年比52%減）になる見込みです。

以上により、平成28年3月期の連結売上高は、900百万円を予想しておりましたが、170百万円減少し、730百万円（前年比0%）になる見込みです。

利益面においては、売上高の減少に伴い営業利益及び経常利益並びに当期純利益が減少いたします。

(注) 上記予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上